

上海日本人学校浦東校の概要と特色ある教育活動

前上海日本人学校浦東校 教諭

兵庫県神戸市立魚崎小学校 教諭 宇野 篤史

キーワード：現地理解、小中交流、上海タイム、特色のある教育活動

1. 中国上海の概要

中華人民共和国は1949年10月1日に建国。世界で3番目に大きい国。人口は世界最大で中国大陸部だけでも12億8000万人。世界の人口の約5分の1にあたる。56種類の民族からなり、漢民族が約92%を占め、その他多数の少数民族で構成されている。ウイグル族やチベット族など中国からの分離独立運動で、政府との対立が近年激しくなっている。

上海市は面積6340.5 km²（群馬県とほぼ同じ大きさ）に約1400万人の人々が住む中国有数の大都市である。財政収入は全国の8分の1を占め、経済力は突出している。上海市に長期滞在する日本人の数は非常に多く、2009年度は約48,000人。日本食の店や日本人向けのスーパーなども多くある。日本人以外にも多くの国の人々が生活していて、アジア最大の国際都市である。

2. 上海日本人学校 浦東校について

(1) 歴史

上海日本人学校は1975年（昭和50年）に、上海総領事館（和平飯店）の一室を借りて「上海補習学校」として開設された。当時、児童生徒数は7名、授業は週1回行われていた。1979年（昭和54年）からは文部省から教員が派遣されるようになり、全日制に準じる授業が行われるようになった。

1987年（昭和62年）、当時の文部省から日本人学校として正式に認定され、上海日本人学校が開校した。2005年（平成17年）には児童生徒数が2116名（60学級）で世界最大規模の日本人学校となる。2006年（平成18年）、上海日本人学校浦東校が小中一貫教育校として開校する。812名の児童生徒数でスタートする。現在も児童数は増加し続けている。

(2) 学校の規模や施設の設備など

①小中一貫校であり、児童生徒数は非常に多い。

2008年（平成20年度）は児童生徒数が1160名となる。毎年4月には100名以上の編入があり、年間を通して編入・退学が多く児童生徒の入れ替わりは大変激しい。2学期の開始時に1クラスに数名の児童が編入してくることもあり、クラスの雰囲気が大きく変わるということもあった。



浦東校 校舎

②学校の設備

校庭には全天候型の200 mトラックがあり、中心部は人工芝を敷き詰めている。また屋内プールがあり、季節を問わず1年中水泳指導を行っている。日本の活字に接する機会が少ないため、図書室の整備には力を入れている。図書室は子どもたちに一番人気のある場所になっていて、休み時間には多くの児童生徒で賑わっている。蔵書数は2万冊を超え、専任の図書スタッフと保護者ボランティアで運営している。

(3) 特色のある教育活動

①語学の授業（異文化コミュニケーション）

英会話…小学部では、週1時間英会話の授業を実施している。英語のネイティブスピーカーの講師が授業を行い、授業は全て英語で進められる。低学年では、ネイティブスピーカーと担任とのTTによる指導を行っている。歌やゲームなどを中心に楽しみながら英会話に親しむことをねらいとして授業を進めている。中高学年では、少人数指導を行い英語でのコミュニケーション能力の充実を図っている。

中国語…小中全学年で週1時間中国語の授業を行っている。子どもたちの中国語の会話のレベルは様々であるので、全学年で4～5展開の習熟度別の少人数指導を徹底している。指導は日本語ができる中国人教師によって行われている。

②上海タイム（総合的な学習の時間）

小学部3年生以上は、総合的な学習の時間を「上海タイム」として、中国上海に関するテーマで学習を進めている。

- ・3年生…地域学習（学校や住居近くの特徴のある施設や建物を調べる）
- ・4年生…現地の人との交流（校内の現地スタッフとの交流・現地校との交流）
- ・5年生…上海市について
- ・6年生…修学旅行（北京）に関する学習など

③日本文化の体験と中国文化の体験

（日本文化体験の一例） もちつき 落語の会 日本の伝統遊び（竹馬・剣玉・羽子板等）

（中国文化体験の一例） タンユエン 切り絵 雑伎鑑賞 京劇鑑賞

④現地校との交流

国際的な視点で物事を考えられる児童の育成をねらいとして、発達段階に即した現地校との交流学習を各学年で行っている。児童は全員交流手帳「ぷーちゃん」を持っていて、簡単な自己紹介や学校紹介ができるようにしている。

⑤宿泊学習

小学部5年生以上は、宿泊学習を行い中国の文化や伝統に直接触れる機会を設けている。

（平成20年度の行き先）

- ・小5年生…東方緑舟（上海市郊外のレクリエーション施設）
- ・小6年生…修学旅行 北京（北京の5つの世界遺産を観光する）
- ・中1年生…蘇州・杭州方面（体験学習）
- ・中2年生…南京方面（南京大虐殺記念館訪問など）
- ・中3年生…修学旅行 西安・敦煌方面

※児童生徒にとっては大変貴重な体験となるものである。ただ、飛行機による移動があり事前準備や計画などは大変である。

⑥小中一貫校としての取り組み（行事など）

始業式や終業式、全校集会や運動会など多くの行事を小中合同で行っている。特に運動会は中学部の生徒が中心になって運営し自主的な活動が進められている。中でも応援合戦は全校の気持ちが一つにつながり、運動会の目玉

の一つとなっている。中学3年生が小学1年生の教室で応援合戦の練習をしている姿は微笑ましい。全校生で行う「応援合戦」や「大玉送り」は迫力があり大いに盛り上がる。

また、行事だけでなく中学部の図書委員会生徒が小学部の低学年児童に読み聞かせをしたり、学級ごとにふれ合い活動を行ったり、平素から交流をしている。



運動会

3. 上海での研修から

(1) 現地校研修

上海日本人学校では、毎年、年に1～2回上海市内にある小中学校へ行って授業を見学したり、現地の先生方の話を聞いたりする現地校研修が行われている。

①英語教育の充実とレベルの高さ

上海の小学校では、3年生から英語の授業を行っている。4年生の英語の授業を見学したが、授業は全て英語で進められていた。お互いに自己紹介をする場面を見学したが、発音もきれいで驚いた。指導する教師の発音や授業の進め方もスムーズで、レベルの高さを感じた。

②教科指導

小学校でも教科担任制で授業を行っている。どの教科も、良く教材研究をされていて、丁寧に指導をしていることが感じられた。体育も専門の教師が指導している。授業の導入には“太極拳”を取り入れた運動を行っていた。グループごとに音楽に合わせて太極拳の動きを考えたり、それを発表したり、日本の小学校の授業の進め方と似ている部分がたくさんあった。校庭には様々な遊具があり、休み時間にはその遊具で楽しく遊ぶ姿も見られた。

③現地の子どもたちの様子から

友だちと楽しく遊んだりおしゃべりしたりする姿は世界中どこも同じなのだと実感した。授業中の私語はなく、授業に集中して取り組んでいた。上海の寒い冬、見学に行った学校では、教室には暖房設備はなく、子どもたちも先生もみんなダウンジャケットを着て授業をしていた。子どもたちは日本に大変興味を持っている。日本のアニメやゲームは上海でも大人気。コナンやポケモン、ドラえもんはみんな見ているようであった。

また、各学級数人の子どもの肩の所には、他の子にないワッペンが貼ってあった。聞いてみると勉強が良くできる子や級長がそのワッペンをつけているようで、学習面でも競い合いながら高めていくというような方針をとっているものと思われる。ある学校では、成績が優秀な子どもの写真を玄関に張り出していた。

ただ、上海市内は教育が充実しているが、中国の内陸部では施設面や教育水準、財政面は厳しいようである。都市部と内陸部の格差は非常に大きいようである。



上海市内の現地の学校



体育の授業

4. 上海での3年間を通して

(1) 日本人学校での仕事から

日本人学校では、1年目は仕事や生活に慣れることを中心に、2年目は学校の中心になって仕事を進める、3年目は学年や学部をまとめる仕事や引き継ぎを進めるというシステムがある。おかげで赴任1年目は肩の力を抜いて仕事を進めることができた。

一番大切なのは、目の前にいる子どもたちへの指導である。数ヶ月後あるいは数年後には日本に戻るという子がほとんどなので、日本に戻っても困らないだけの学力をしっかりと身につけることができるようにすることを、教科指導の柱として取り組んだ。子どもたちにとっては、海外で生活をしているということは全く関係なく、勉強をがんばり、友だちと元気いっぱい遊び、学校生活を楽しんでいった。

(2) 3年間を振り返って

海外で仕事をする、生活をするということは自分にとっては大変良い経験になった。不便なことは非常に多いが、それ以上に得ることが多いように思う。通勤途中に町中を歩くだけでも楽しく、刺激的であった。

3年間での一番の宝物は、多くの人との出会いである。日本全国から集まった先生方と、学校での仕事のことや子どもたちのこと、家族のことなど多くのことを話し合い、相談することができた。海外で共に生活し仕事をする仲間としての絆は非常に強かったように感じている。そして、私が出会った先生方の教育への情熱や考え方は、自分自身の今後の教師としてのあり方に大変参考になった。

また、中国の方々との出会いも忘れることができない。学校の門衛スタッフの方々、大工さん（管理員さん）、プールスタッフ、語学学校の先生など、どなたも親切で温かい方たちであった。中国の方は仲良くなると、相手のために心から尽くすという気質がある。自分自身少し忘れかけていたものを思い出すことができたように感じている。

良き出会いに恵まれ、幸せな3年間を送ることができたと感謝している。